

# 事務事業評価シート2(一般事業)

## 1 基本情報

		事業番号	0110/100540/03/00	事業の種類	4
年度	19	事務事業名	まちづくり活動支援事業	作成日	平成21年1月20日
予算事業名	あいおい元気アップ支援事業		担当部課名	まちづくり推進室	
政策名	計画推進のために				
施策名	市民参加のまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規	あいおい元気アップ支援事業助成金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	まちづくり活動に既に取組んでいる市民及びこれから取組もうとする市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	まちづくり活動に関心のあるグループに助成を行うことで、相生の元気の芽を育み、もってまちの活性化を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		・まちづくり活動に取り組むグループに対する助成及びその他のサポート				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	元気アップ支援事業	団体数	7	6	5	6

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.300	0.300	100.0	0.350	116.7	0.150	42.9	
	臨時職員			-	0.050	100.0	0.050	100.0	
支出内訳	人件費	3,621,408	3,293,034	90.9	3,912,023	118.8	2,122,982	54.3	
	事業費	736,806	798,000	108.3	526,200	65.9	820,000	155.8	
	合計	4,358,214	4,091,034	93.9	4,438,223	108.5	2,942,982	66.3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,358,214	4,091,034	93.9	4,438,223	108.5	2,942,982	66.3	
	合計	4,358,214	4,091,034	93.9	4,438,223	108.5	2,942,982	66.3	

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	まちづくり活動支援事業申請グループ数								
指標説明(式)	まちづくり活動支援事業申請グループ数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
団体数	目標	9	7	77.8	6	85.7	6	100.0	
	実績	7	6	85.7	5	83.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

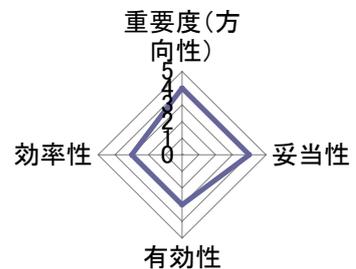
指標名1		1助成グループあたりに要するコスト							
指標説明(式)		事業費(助成金除く)/申請グループ数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	556,839	573,505	103.0	787,504	137.3	642,223	81.6	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市民活動の芽を育むことは、まちの活性化には不可欠	3	4
	市民ニーズ	潜在的ニーズは低い		
有効性	成果目標(改善)達成度	目標申請グループ数に届かなかった。	3	3
	市民サービス	助成グループが多様な市民向けの活動を行うことで、まちの活性化に寄与した。		
効率性	コストの節減	申請団体数の減少が事業費の減少を招いている。	3	3
	手段の最適性	公開審査、公開報告会により、申請グループの活動の透明性を確保した。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	5グループから申請があったが、申請額が予算額をだいぶ下回った。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	成果目標(改善)達成度	予算額を減額した。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

グループの自立性を高めるために、相談・指導に力を入れる。  
新規グループの開拓に努める。

検討の有無	—
総合指標	20